

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス ヴィジティング・フェローによるトーク

Mille et Une Nuits – 千夜一夜

2022年12月8日(木) 16:00-16:45 / 廣東會館俱樂部(横浜市中区山下町 118-2)



パリを拠点に活動する振付家、パフォーマンス・アーティストのソルルール・ダラビによるトーク。

2013年からフランスを拠点に、パリとベルリンを行き来しながら活動するイラン出身のトランスアーティストで、現代のイランと「シルクロード」諸国におけるクィア神話としてのシェヘラザードの人物像に関するリサーチをもとにした最新プロジェクトを紹介する。

このリサーチにおいて、ソルルールは愛と柔和とともに、戦いと怒りの神話的側面を浮き彫りにし、クィア・フェミニストの本質的な関わりを理解しようと試みる。

■参加方法:本トークは YPAM エクスチェンジの一環として実施いたします。YPAM のプロフェッショナルにご登録の上、ご参加ください。( <https://ypam.jp/> ) また、当日の言語は英語ですが、日本語同時通訳をスマートフォンや PC のウェブブラウザで聞くことができますので、同時通訳をお聞きになりたい場合は、デバイスとイヤフォンをご持参ください(アプリのインストールは不要です)。

■問い合わせ先:公益財団法人セゾン文化財団

[residency@saizon.or.jp](mailto:residency@saizon.or.jp)

※2022年12月15日(木)19:00-21:00

森下スタジオで「脆弱性」をテーマにワークショップを実施予定。詳細は当財団のウェブサイトで発表します。

Photo: HerwigScherabon.

ソルルール・ダラビ / Sorour Darabi (イラン / フランス)



イラン出身のアーティストで、独学でパフォーマンスを学び、2013年からパリを拠点に活動する。渡仏後、モンペリエ国立振付センターで研修し、『Subject to Change』(2015年)や『Farcie』(2016年)を発表。2018年、モンペリエ・ダンス・フェスティバルで発表した、ムハツラムの追悼の儀式に影響を受け、悲嘆、恐怖、苦しみといった感情への問いを題材に、愛情、脆弱性、影響を受けた存在への叙情歌『Savusun』で注目を集める。

近年では、クステン・フェスティバル・デザールから委嘱を受け、現代神話の交差点にある無限の領域としてのジャングルに着想を得た『Mowgli』(2021年)を発表。また同年、「自然」の概念を問う作品、『Natural Drama』を発表した。

■滞在テーマ:Mille et une nuits(千夜一夜)

■滞在期間 :2022年12月7日(水)ー12月28日(水)